



Kyo.Prot.N.50/2021
京都教区の皆さんへ

2021年 聖母被昇天司教メッセージ

京都教区の皆さん、コロナ感染者の増加が止まりません。聖母被昇天祭を迎え、コロナ禍の収束を願い、マリアへわたしたちの祈りをささげましょう。

神の母、わたしたちの母マリア、全世界が苦しみと不安に襲われている この過酷な日々の中で、あなたのご保護により頼み、助けを求めます。新型コロナウイルスの世界的大流行のただ中にあるわたしたちに、あわれみの目を注いでください。治療中の人、後遺症に苦しむ人、その家族、また感染におびえる人など、この不安にいるわたしたちを守り、感染拡大を早く止めてください。

■ライムンド田中健一名誉司教のため

田中司教さまは、7月29日宇和島の病院で静かに天国に旅立たれました。司教様は8月31日に94歳の誕生日を迎えられる直前でした。また今年の12月21日で司祭叙階70年でもありますね。司教として生涯をささげられた田中司教様に改めて深い感謝の気持ちを表したいと思います。どうぞ、司教様のためにお祈りください。

■祖父母と高齢者、病者のため

教皇フランシスコは、聖マリアの両親、聖ヨアキムと聖アンナの祭日（7月26日）にちなんで、祖父母や高齢者の存在の価値を社会に示すために、7月25日（日）を第1回目の「祖父母と高齢者のための世界祈願日」と定め、すべての祖父母やお年寄りの皆さんに拍手をおくりましょうと呼びかけられました。そして、特にすべての孤独な人たちに会いに行き、「わたしはいつもあなたがたと共にいる（参照：マタイ 28,20）」というイエスの約束を伝えてくださいと言われました。コロナ禍で病者や高齢者の見舞いも控えなければなりません。この夏休みに、互いの家族と離れて暮らす人たちが、互いの健康を気づかいながらも、こころを通わせることができますように。

■コロナ禍で苦境にある人のため

コロナ禍が長引く中で、深刻な生活の困窮を抱える人々や、台風豪雨災害の被災者が、聖マリアの支えによって、この難局を乗り越えていくことができますように。

悩み苦しむ者の慰めであるマリア、苦しむあなたのすべての子らを抱きしめてください。神が全能のみ手を差し伸べ、この恐ろしい感染症の大流行から、わたしたちを救って下さるようにお祈りください。アーメン。

2021年8月15日 聖母被昇天祭

✠パウロ 大塚喜直